

下呂温泉

水面に映える、幻想二重奏

苗代桜

なわしろざくら

苗代桜

県指定 天然記念物
指定年月日 昭和四十三年十一月十一日
所在地 下呂市和佐
所有管理者 和佐区

苗代桜は別名を馬桜ともいい、国道四十一号線から中原大橋を渡って一八キロメートル先の山裾に立っています。

この桜は二本の巨木からなり、樹齢約四百年といわれています。うち一本は樹高三〇メートル、目通り周囲四メートル、もう一本は樹高二五メートル、目通り周囲三メートルもあります。

苗代桜の名の由来は、その美しい桜の開花を待つて里人が苗代稲の苗を作るための田の準備を始めたというところからきています。

苗代桜は近江源氏佐々木氏の末流三太郎郎兵衛宗次が和佐へ移住したとき手植えしたものと伝えられています。また、宗次は和佐地区の人々に初めて細江姓を与えたほか、近江の文化をも伝えたといわれます。

苗代桜は、もとは三本の姉妹桜でしたが、昭和二十七年に二本が枯死し、二本が現在に残っています。

桜の見頃 四月上旬～中旬



訪問、合せ先下呂市役所観光課(0575)341-3333